

おむすび

やまがたの仕事と芸工大生をむすぶ

第二号

先輩の会社を訪ねて「荘内銀行」へ。



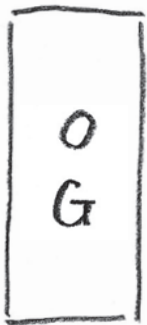
山形に根ざし、地域の発展を支える
庄内銀行を訪ねました。
そこは、又土イイメージを回復す、
自由闊達な現場でした。

庄内銀行は鶴岡に本店がある地方銀行です。
地域の活性化において必要不可欠な存在ですが、
内部にはどのような仕事があるのかイメージが
湧きづらいものです。しかし、今回お話を聞いて、
銀行という職種でも、芸工大での学びが
活かせることがわかりました。

株式会社庄内銀行
〒997-8611 山形県鶴岡市本町1丁目9番7号
TEL:0235-22-5211 (代表) URL: <http://www.shonai.co.jp/>



今日の
目撃
取材
レポーター
五+嵐翔
(企画構想学科4年)



経営企画部 広報CSR室
沼澤早紀さん

(2014年度 大学院修士課程 彫刻領域修了)

石で培われた社会人力

大学・大学院では彫彫を専攻していましたが、なぜ銀行を選んだのか
と驚かれることも多いのですが、まったく違う分野で働くのも面白
いと思い挑戦しました。大学時代の経験は、直接的ではありませんが、
社会人生活の中で役立っています。

何トンもある石を扱う際は危険が伴うので、皆と協力して行います。
そのためにはコミュニケーション力が必要。同級生に歳の離れた方や
社会人経験がある方もいて、年齢も経験もバラバラの仲間と話し、
活動できたのは貴重な経験でした。自分で採石場に電話して石を譲

っていたり、道具も自
分で作ったりと、自発的に行
動する力も身に付いたと思
います。

また、石を彫る作業は後戻り
できません。完成時の姿をし
っかり見据えて進めていくこ
とが、スピードと精度を上げ
る重要なポイントでした。こ

これは仕事でも大切にしています。今思えば、大学時代のさまざまな
経験が仕事で活かされていることが分かります。

広報担当としてのやりがい

入行前はやはり堅いイメージを持っていましたが、いざ入ってみると
組織の壁がなく、いろいろな部署とフラットに話ができる環境で、い
い意味でギャップがありました。銀行の仕事というと、営業店の窓口
業務を思い浮かべる方が多いと思いますが、融資や渉外、商品企画、
広告宣伝など、多くの業務があります。そして、地域に密着した仕
事がたくさんあることにも驚きました。

私は社内向けの広報を担当しています。「歩」という社内報を企画・
編集しており、経営トップである頭取の訓示や各部署の取り組み、
庄内銀行が関わるイベントなどを取材してまとめ、全役職員に配布
また、毎週、動画でニュース番組を制作し、タイムリーな情報発信も
行っています。ビデオカメラと三脚を担いで、山形県内はもちろん、
仙台や東京にも出掛けます。大学時代に鍛えられた体力がありま
すので、重い機材や荷物も余裕で持てますよ。

現場での取材は好奇心をくすぐられ、自分が撮影した写真や映像
を自ら編集して皆さんにお伝えすることにやりがいを感じています。
これからも、もっと行員の皆さんやお客さまとコミュニケーションを
とって「広報の沼澤さん」として覚えてもらえるように頑張ります。
そして、庄内銀行のさまざまな取り組みを、積極的に発信していき
たいです。



上司

経営企画部 広報CSR室 室長

佐藤 良樹 さん

チャレンジングな組織風土をつくる

全員で大事にしているのは、自由闊達でチャレンジングな組織風土をつくることです。自由な発想を積極的に生み出して挑戦していくことを応援しています。

年々同じ業務をやっていくと、時代に合っていないことや、無駄が発生していることがよくあります。そこを見ていけるのは若い感性だと思っています。

美術系の学生が銀行に入るということは意外に思われがちですが、沼澤が担当している広報のように、感性を活かせる仕事が銀行内にはたくさんあります。我々が思いつかないアイデアや提案がいろいろ出てきますね。



そういった意味で多種多様な人材を採用しています。一般大学出身に加え、芸工大出身のように違う感性を持っている方を採用することで、刺激しあえる環境を目指しています。世間一般的に氾濫している情

報やノウハウに惑わされず、自分の意見や発想をどんどんぶつけてほしいですね。

山形を元気にする新たな可能性

芸工大が開学してから、さまざまな文化が地域の中で生まれてきているなど感じます。

当然でも、お取引先が抱えている課題の中にはブランディングなどが必要な場合があり、お力をお借りすることが多々あります。そうすることで地域に新しい視点が入ってきますし、銀行やお客さまにとっても斬新なアイデアが得られる機会になっています。

お取引先の事業計画実現に向けて、金融機関の視点からアイデア、意見を出すことも多いのですが、どうしても発想が堅くなりがちです。そういった部分で芸工大生の違う視点のアイデアを提案していただくことで、新しい何かが生まれる可能性があり、今までとは違う地方創生の手段が見えてくるのではないのでしょうか。

今後は学生とディスカッションするような場がもっと増えていけば面白いですね。学生の皆さんにとってみれば、若いうちに地域と関わり、自分たちの知識やノウハウがどうしたら届くのか、どのように活用されていくのかを体験することは、社会に出た時に活かせるはずです。

銀行は金融機関ですが地域のパイプ役として機能する業種でもあります。ネットワークの起点としてご利用いただき、地域・芸工大・銀行の力を合わせて山形を活性化していければと思います。

産学連携

後援会会員と芸工大の

連携商品の開発秘話

「東の麓酒造」

グローバル化、情報化により、新しい商品・サービスは瞬時に模倣され画一化し、価格競争に巻き込まれます。ビジネスではいかに他と違う発想で商品・サービスを創出するかが重要になってきました。今の時代、好んで消費されるのは、計数化できる商品スペックよりも、その商品に含まれるアイデアやデザイン、ストーリー、つまりクリエイティビティに優れた商品・サービスです。

そうしたビジネス環境において、芸工大の産学連携は、製品のコンセプトづくりからデザイン、販売までをコーディネートしていくプロデュース型に変わっています。

今回は、そうしたモデルケースを後援会会員との連携にみていきます。



©akaoni

東の麓酒造有限公司

〒992-0472 山形県南陽市宮内2557

TEL: 0238-47-5111 FAX: 0238-47-2013

「純米吟醸酒

「つや姫なんどでも」の開発

「若者に美味しい日本酒を知ってほしい、飲んでほしい」という東の麓酒造の新藤栄一製造部長からの依頼を受け、山形のブランド米「つや姫」を使用した日本酒のネーミングとラベルデザイン、販売戦略を手掛けました。

まず学生たちは、酒蔵に行き、酒造りの工程を体験しました。そこで会社の思想、作り手のこだわりから知ることになります。次に徹底した対話、ヒアリングをさせていただきました。そこでできた製品のストーリー、コンセプトは、つや姫自体の「温かくても冷めても美味しい」という特性を生かした「爛でも冷でも」何℃でも美味しく飲むことができ、またどんな料理にでも合うことから、「何回も」何度でも美味しく飲んで頂けるお酒」とし、「純米吟醸酒つや姫なんどでも」と命名しました。

ストーリーづくりは主に、日本初の専ら企画を学ぶ学科「企画構想学科」が担いました。瓶のラベルは、商品のイメージに合わせて若者が手に取りやすい日本酒を指した戦略にそって「グラフィックデザイン学科」が担当しました。温度を示す記号「℃」が用いられ、「何℃でも美味しく飲める」ことも表現された斬新な新酒の誕生です。学生の意見から、コンビニでも手軽に買える300ml瓶500円に価格設定されました。

開発で終わりではなく、プロモーションが次々と始まりました。新酒発表会を皮切りに、レストランで日本酒にあうフランス料理を食べてもらおう企画、大学生向けの「お酒の飲み方講座」などが開催され、それら情報は常に大学広報室からパブリシティが行われ、メディアで拡散され消費者に届きます。

新商品は普通、小ロットで生産され（原酒で1200ℓ程）1年かけて販売されますが、「なんどでも」は約2ヵ月で完売しました。現在は、東南アジア、イタリアへの輸出も始まりました。



「純米吟醸酒 つや姫なんどでも」「天弓」の仕掛け人となった東の麓酒造の新藤栄一製造部長。

「天弓」のブランディング

「つや姫なんどでも」に続く連携事業は、若者への訴求から、高級酒や普段飲み酒の酒など複数の種類の酒に共通して使う統一ブランドの開発です。それが現在計3種類が発売されている「天弓」です。天弓（テンキウ）とは、雨が降った後の晴れた空に見られる虹を意味する言葉です。語感が似ている「Thank you」と掛け合わせ、感謝の気持ちを伝えるとの思いもこめられています。種類の違う酒造好適米をそれぞれ高精白した純米吟醸で、元・東北泉・杜氏の神理氏が、責任醸造したお酒です。天弓は、特約店限定商品としました。こうした販売方法も、プロモ

ーション戦略になるのです。約半年で純米吟醸酒「桜雨」は、約280万円を売上げ完売、純米酒「白雨」も約120万円を売上げ完売、残る純米大吟醸酒の「藍天」も約130万円を売上げており、まもなく完売するでしょう。「天弓」は、アイテム別の売上構成比で73%になりました。9月1日に4種類目の「喜雨」を発売予定ですが、予約分だけで完売になりそうな状況です。



「上質な商品であるがゆえの成功事例

食品・飲料は当然ながら、品質・味が第一です。クリエイティブだけでは売れません。「つや姫なんどでも」は、2015年、「全米日本酒欲評会」で銀賞、「ワイングラスで美味しい日本酒アワード2016」のメイン部門で最高金賞を受賞しています。山形の確かなものづくりの姿勢が高品質の製品を生み、これにデザインを掛け合わせることで、その価値を一気に高めることができたのです。そして、こうした流通まで考える実務教育は、学生の社会性を確実に高め、芸工大の教育方針の柱になっています。ぜひ、今後も会員企業との連携により、新たな価値の創出と、実践力のある人材育成をしたいと思えます。



「天弓」記者会見の様子。



レポーター
五+嵐 翔
(企画構想学科4年)

以前から「芸工大生はもって地域で活躍できるのではないか」と感じておりました。今回の取材を通して、芸工大が地域活動に積極的なイメージが持たれていること、コラボレーションを前向きに考えられていることを知り、その気持ちは強くなりました。今後もっと地域貢献活動を企業と活発に行い、芸工大生がさらに地域で活躍できれば良いと思います。

「芸工大生って絵しか描かないのでは？」と、何を学んでいるのかなかなか理解していただく機会がありません。そこで企業と芸工大を結びつけ山形を一緒に作っていきたいという想いを込めて発刊されたのがこの「おむすび」です。

おむすびとは



会期：2016年9月3日(土)～9月25日(日)
会場：山形県郷土館「文翔館」とんがりビル、
BOTA coffee & BOTA theater など
お問い合わせ：東北芸術工科大学 山形ビエンナーレ事務局
〒990-9530 山形県山形市上校田3-4-5
TEL 023-627-2091 FAX 023-627-2081
公式サイト：https://biennale.tuadac.jp/



お知らせ

「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」

この芸術祭は、東北芸術工科大学が主催し、山形市街地を中心に2年に1回開催する、市民参加型の芸術の祭です。第2回目となる今回は「山は語る」を開催テーマに、山形市出身の絵本作家、荒井良二氏を芸術監督に迎え、45組のアーティストが市民、県民と交わりながら山形の魅力を表現し、掘り起していきます。

山形に暮らしながらもこれまで触れることがなかった歴史や文化に、「山形ビエンナーレ」を通じて日常と異なった光をあてることで、参加者の皆さんとともに新たな山形の風景を見出しければ幸いです。

後援会会員

- AGC グラスプロダクト株式会社 / N T T タウンページ株式会社 東北営業本部 / T O T O 株式会社 東北支社 / 株式会社 ア・フアクトリ / 有限会社 アートエック / 株式会社 赤湯観光バス / 株式会社 曙印刷 / 税理士法人 あさひ会計 / 東の麗酒造有限公司 / 株式会社 荒正 / 羽陽建設株式会社 / うるしやまタクシー株式会社 / 株式会社 エフ・アンド・シー / 株式会社 エル・カン / 遠藤商事株式会社 / 株式会社 オイシー / 株式会社 大風印刷 / 株式会社 大久保硝子店 / 株式会社 大沼 / オビサン株式会社 / 株式会社 カスカワスポーツ / 月山観光開発株式会社 / 株式会社 上山温泉ホテルあづま屋 / 株式会社 普屋本店 / 株式会社 きらやか銀行 / 株式会社 きんでん東北支社 / 黒澤建設工業株式会社 / 株式会社 建設テクノ / 株式会社 小松写真印刷 / 株式会社 彩画堂 / 株式会社 蔵王フライズ / 株式会社 蔵王ミート / 酒井造園 / 株式会社 栄屋ホテル / 株式会社 シベール / 株式会社 ジョインセレーゼ / 株式会社 荘内銀行 / 進和フレイン印刷株式会社 / 医療法人社団 須藤医院 / 株式会社 須藤電機 / ホーム株式会社 山形統轄支社 / 株式会社 セロン東北 / 全国農業協同組合連合会 山形県本部 / 株式会社 大商金山牧場 / 株式会社 ダイバーシティメディア / 株式会社 高橋型精 / 宝化成機器株式会社 / 株式会社 滝の湯ホテル / 株式会社 田中工務店 / 田宮印刷株式会社 / 株式会社 野町さん / 株式会社 千歳館 / 株式会社 千歳建設 / 千歳不動産株式会社 / 株式会社 塚田会計事務所 / 株式会社 テトラス / 株式会社 天童木工 / 株式会社 でん六 / 東栄コンクリート工業株式会社 / 東武トップアーズ株式会社 山形支店 / 有限会社 東北環境総合サービス / 東北電化工業株式会社 / 東北電力株式会社 / 株式会社 エネア株式会社 / トーエイ工業株式会社 / 株式会社 とみひろ / 株式会社 ヨコレンタカー / 山形 / 株式会社 ナイガイ / 内外緑化株式会社 / 株式会社 にしむら / 株式会社 旅館古窯 / 株式会社 ニューテック / 株式会社 ネットワークの里 / 株式会社 ハイスター / 株式会社 羽田設計事務所 / 株式会社 八文字屋 / 東日本電信電話株式会社 山形支店 / ファースト興産株式会社 / 藤庄印刷株式会社 / 富士ゼロックス株式会社 / 富士ゼロックス北日本株式会社 / 布施弥七京染店 / 株式会社 ホタルの池 / 株式会社 本間利雄設計事務所 / 丸善株式会社 仙台支店 / ミクロン精密株式会社 / みずほ銀行 山形支店 / 株式会社 南東北ポタ / メイク美創株式会社 / 有限会社 名月荘 / 株式会社 マフオス山形事業部 / 有限会社 矢口 / 株式会社 山形アドビエロ / 山形ガス株式会社 / 株式会社 山形銀行 / 山形空港ビル株式会社 / 株式会社 山形ランドホテル / 株式会社 山形自動車販売店 / リサイクルセンター / 山形建設株式会社 / 公益社団法人 山形県宅地建物取引業協会 / 山形県民共済生活協同組合 / 株式会社 カギヤマ山形国際ホテル / 山形県農業協同組合 / 山形県食品株式会社 / 株式会社 山形新聞社 / 山形信用金庫 / 山形ゼロックス株式会社 / 株式会社 山形テレビ / 山形トヨタ自動車株式会社 / 山形農業協同組合 / 山形パナソニック株式会社 / 株式会社 山形ビル商會 / 新観光社 山形ビルサービス / 山形放送株式会社 / 株式会社 ヤマノ / 山形観光株式会社 / 株式会社 山形新広告社 / 株式会社 山本組 / 悠湯の郷ゆき / 株式会社 吉田段ボール / 恵整画廊 / リゴジャパン株式会社 東北営業本部 / 山形支社 / 両羽協和株式会社 / 菱機工業株式会社 仙台支店 / 有限会社 レンタルプラザ / 渡辺包装株式会社 / 以上122社(8月1日現在)